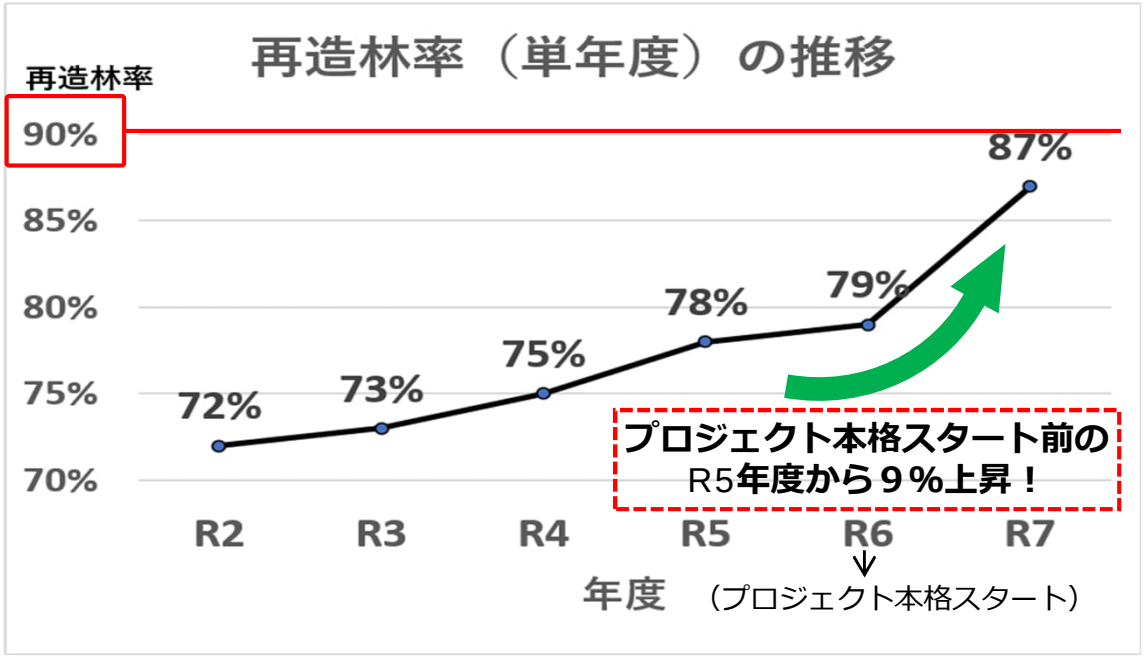
令和７年度再造林率について

環境森林課再造林推進室

令和６年度から本格展開している３つの「日本一挑戦プロジェクト」のうち、
「グリーン成長プロジェクト」では、再造林率９０％を目標に掲げ、
持続可能な森林・林業・木材産業の確立に取り組んでいます。
このたび、令和7年度の再造林率を算出いたしましたので、お知らせします。

➢ 再造林率＝当該年度に実施した再造林面積／当該年度に主伐された針葉樹の推計面積×100 (人工林を伐採した跡地に再び苗木を植えた割合)

令和７年度再造林率　８７％　前年度比＋８％



（参考）プロジェクト開始時点の現況値(H30～Ｒ２の３か年平均)７３％ からは１４％上昇

（再造林率上昇の主な要因）
- ○　市町村と連携した造林補助金の嵩上げ：補助率68%→90%
- ○　地域再造林推進ネットワークの活動：会員数331者（R8.9月末）
- ○　森林組合造林作業班の平均賃金：35%上昇（R2年度→R6年度）

⇒ **再造林率の上昇**

令和７年度再造林率について

環境森林課再造林推進室

グリーン成長プロジェクトの主な取組と成果

❶ 再造林の推進に向けた意識醸成と支援体制の充実

【取組】
- 全国初の再造林推進条例の制定
- 再造林等への補助率の嵩上げ　(68%→90%)
- 地域再造林推進ネットワークの設立（県内８地域）
- 森林相続等に関する相談会の開催



【成果】
- 地域再造林推進ネットワーク会員数
  R5年度以前：０者→R8.9月末:331者（R8年度目標:400者）

❷ 再造林を支える担い手・経営体の確保

【取組】
- 造林従事者の待遇改善指導
- 造林事業を行う事業体への支援



【成果】
- 森林組合造林作業班の平均賃金
  R4年度:9,200円/日→R6年度:12,444円/日(R8年度目標:13,000円/日)
- 森林組合の造林作業班の待遇改善（月給制・週休２日制の導入）

❸ 林業採算性の向上を図る新技術等の実装

【取組】
- スギコンテナ苗の生産施設等の支援
- ドローンを活用した森林調査の実証(16ha)



【成果】
- 活着がよく通年植栽が可能なスギコンテナ苗の生産本数
  R4年度:274万本→R7年度:333万本（R8年度目標:320万本）

❹ 循環型林業に不可欠な県産材需要の拡大

【取組】
- 県外・海外への販路拡大(展示会・セミナー)
- 商業施設等の県産材利用への支援



【成果】
- 高付加価値の製品輸出に取り組む事業者数
  R4年度:2社→R7年度:10社（R8年度目標:8社）

再造林率　R5年度：７８％　→　R7年度：８７％

今後の取組

○　グリーン成長プロジェクトの総仕上げとなる今年度も、再造林推進ネットワークの活動支援や造林補助金の嵩上げ等により、引き続き、再造林率90%達成に向けた取組を推進

○　再造林等の推進は、持続可能な森林・林業・木材産業の確立のためには重要な課題であることから、第８次宮崎県森林・林業長期計画（改定計画）においても重点施策として位置付けたものであり、プロジェクト終了後も市町村や関係団体と連携した取組を継続

